



愛知県議会議員（日進市および東郷町選出）

2017.5.11 NO.8



福田 よしお 県政レポート

編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7

TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp

ホームページ・Facebook にも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください



愛知県議会 2 月定例議会報告（2 月 20 日～3 月 24 日）



例年になく寒い春に桜の開花が遅れましたが、入学式には満開となり春爛漫から初夏の香りが爽やかな季節となってきました。皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃は、福田よしおの活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年 2 月定例愛知県議会は、予算関係 26 件（当初 16 件、補正 10 件）、条例関係 23 件、その他の議案 29 件（監査委員の選任、教育委員の選任、工事請負契約、市町村の各種負担金の変更など）、専決 1 件（控訴の提起）計 78 件の議案の審議を行い、全議案原案どおり可決、同意、承認しました。特に世界経済の影響で乱高下する為替や株式相場など金融資本市場の変動等により県税のうち法人県民税及び法人事業税の大幅減収見込み等となり試算では約 1,600 億円の財源不足でした。事業の精査、平成 28 年度予算残額及び財政調整基金を大幅に取り崩して充当し 2 兆 5,209 億 6,300 万円の一般会計と特別会計、企業会計を合わせ総額 3 兆 4,846 億余円の予算を議決しました。また、いわゆる繁華街の「ぼったくり」に対して必要な規制をする条例制定や消費税引き上げ時期の延期に関して愛知県税条例の一部改正など県民生活に密着した議案を可決しました。

「日本一元気な愛知」を支える県政は、産業振興、教育、医療・福祉、インフラ整備、環境対策、地震防災対策、交通安全など様々な分野に取り組んでいます。数年後、10 年後のビッグプロジェクトを見据え、県議会議員として適切な審議に努め、県民の皆様の安心安全で「災害に強い笑顔のある社会づくり」に全力で取り組んでまいります。今後とも、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



**（特報）私の「一般質問」が実現しました！
「被災市町村広域応援の実施に関する協定」を締結！**

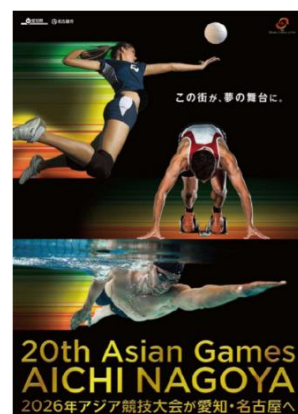
昨年 9 月定例議会一般質問で「大規模災害時の広域避難」について提言したところ平成 29 年 4 月 4 日愛知県と県市長会、県町村会が「被災市町村広域応援の実施に関する協定」を締結し、被害の少ない市町村が被災者を受け入れたり、そのための施設の提供、物資及び資機材の提供、職員の派遣など広域連携で対応することとなりました。また、大規模災害時に多数の広域的避難を円滑に実施するため、愛知県バス協会、タクシー協会とも協定を締結しました。平成 29 年度中に被災自治体支援訓練を実施、検証して大規模災害に備えます。なお、応援に要した費用は「災害救助法」の規定に基づき、被災都道府県が負担する内容です。

今後とも元消防官として知識、経験を生かし「災害に強い街づくり」を推進します。



第 20 回アジア競技大会の開催に向け準備が始まりました！

2026 年愛知・名古屋で開催される第 20 回アジア競技大会。アジア・オリンピック評議会（OCA）主催で、加盟する 45 の国と地域が参加して、開催期間は 16 日間、競技種目はオリンピック競技のほかセパタクローなど独自競技を加えた 36 競技（追加競技を除く）と仮定し、参加者数は選手・大会関係者約 1 万 5,000 人を見込み、今後は競技場、選手村など具体的な競技大会計画が策定されます。



2 月議会 本会議議案質疑



● 県有施設長寿命化について

議案質疑概要（福田よしお）

「県有施設長寿命化推進事業費（2 億 1,267 万 3 千円）」は、平成 32 年度までに老朽化している庁舎、学校、道路、河川といった 16 の施設類型ごとに個別計画を策定する事業。平成 29 年度予算には愛知県消防学校の長寿命化調査費約 3 千万円が、また、愛知芸術文化センターの大規模改修費約 20 億円が計上されています。警察署庁舎では愛知警察署の建替えが始まり、平成 29 度は約 25 億円の工事費が計上されています。大阪府や京都府のように県と市の消防学校を統合したり、新潟県のように消防学校と市町村職員研修施設を併設している事例があります。東郷町にある愛知県総合教育センターは、築 40 年を超え長寿命化調査が行われていますが、厳しい財政状況を踏まえると県有施設長寿命化推進事業は、今後の県財政を圧迫することが予想されます。この事業の内容と全庁的・総合的な取りまとめをどのように進めていかれるのか伺います。

答弁要旨（総務部長）

県有施設長寿命化事業は基本調査を行う事業で、専門業者に委託してコンクリート強度の調査により施設の実態を把握するとともに、長寿命化に向けた大規模改修及びその後の維持管理に係る計画案を作成するもので、平成 27 年度は築 50 年を超えた愛知県体育館と新城設楽総合庁舎をモデルに調査し、古い施設であっても長寿命化することができることを確認しました。そこで、平成 28 年度は施設数を拡大して防災拠点を中心に 11 施設について基本調査を実施したところです。対象施設は全体で約 150 施設を予定していますが、平成 29 年度は自治センターなど防災拠点となる施設や築年数の古い 26 施設を対象に調査します。次に、総量削減や経費の平準化について全関係部局を構成員とする「県有施設利活用最適化会議」を設置して横の連携を確保しつつ、全庁体制で取り組んでいます。例えば、ふれあい広場や特別養護老人ホームを廃止したり、職員住宅や教職員住宅は、一部公舎へ切り替えた以外は全廃しました。また、総務部の所管する安城県税センターを健康福祉部の所管する安城保健分室の庁舎内に移転したり、田原保健分室を田原市の福祉センター内に移転するなど、県と市町村の庁舎の統合も行っていますが、さらなる総量削減、経費の軽減、平準化が必要なため、今後は「広域的視野での検討」を掲げ、国や市町村も含めた統合など、広域的な施設総量の適正化に取り組み、全庁的・総合的な観点から施設総数の削減、経費の軽減・平準化に努めていきます。



● 新城総合公園（広域応援部隊の県内進出拠点）の整備について

議案質疑概要(福田よしお) （新城総合公園整備事業費 1 億 3,500 万円）

新城市は、平成 16 年国の「地域再生計画」の認定第 1 号を受け、民間と地方自治体が協力して実施する初のケースとして日本自動車連盟公認「新城ラリー」を開催され、その実績により平成 19 年には全日本選手権となりました。また、昨年は新東名高速道路の開通により新城インターチェンジから約 5 分にあるメイン会場の「新城総合公園」及びギャラリーステージに 2 日間で 5 万人を超える観客を動員する日本有数のモータースポーツイベントに成長してきました。そして本年 1 月 7 日の新聞報道によれば新城総合公園を既存の樹林地を生かしつつ、公園施設を設置、管理運営する事業者を公募することによって、約 5 ヘクタールを利用して遊戯施設、運動施設などスポーツ・レクリエーション施設、また、売店、飲食店の併設可能な募集内容となっています。これは、平成 28 年 7 月にオープンした大高緑地の「ディノアドベンチャー名古屋」に続く取組と理解していますが、スポーツツーリズムが地域振興となっている新城ラリーのメイン会場である「新城総合公園」についてどのように公園整備を計画され実施するのか伺います。



答弁要旨（建設部長）

新城総合公園は、昭和 60 年に第一期の供用を行い、その後整備の進捗に合わせ、順次供用区域を拡大し、平成 15 年 4 月に 64.3 ヘクタールの全体を供用しました。公園内には、陸上競技場、野球場、テニスコートなどの運動施設のほか、「城攻め」をテーマにした複合遊具が斜面地に配置されている「わんぱく広場」や芝生広場、散策路などが整備されています。また、現在、公園内の未利用の樹林地を対象

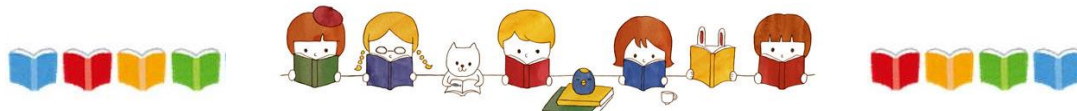
に、新たな公園施設を設置、管理運営する民間事業者を募集しており、さる1月17日に開催した現地説明会には、11社の参加がありました。民間事業者の関心の高さをうかがうことができ、3月10日の応募期限までには公園の魅力向上につながる提案がいただけるものと期待しています。新城総合公園の施設改修については、当初の供用から30年以上が経過し古くなった施設も見られ、とりわけトイレや園路舗装の老朽化が進んでいることから、今後の利用者の増加に対応するためにも、これらの施設の改修を進めることとしています。特にトイレにつきましては、浄化槽など設備の老朽化に加え、利用者から「個室が狭く使いづらい」などのご意見もいただいております。全面的な改修が必要な7箇所のトイレについて、今年度から、計画的に改修に取り組んでいます。また、園路の舗装につきましても、利用状況を勘案して来年度から順次改修を進めたいと考えております。新城総合公園がより多くの方々にご利用いただけるように、民間施設の導入による魅力向上に努めるとともに、適切に維持管理していきます。

要望（福田よしお）

新城市は、新東名高速道路の開通、新城インターチェンジ周辺の道の駅の開設などから地域再生計画は着々とその成果を上げています。そして民間活力導入で新城総合公園の整備事業が進み、新城総合公園の魅力が増し、さらに県内外から新城地域を訪れる観光客の増加が見込まれることから、特に駐車場の増設が今後の課題となるものと思います。また、ラリーを通じて「自動車の楽しさ」を広げる絶好の機会であり、モノづくり愛知の基盤である自動車産業振興につながるものと思いますが、自動車は楽しいものである一方、運転技術や運転モラルの低下により、人命を左右する重大な事故が発生するもの事実です。そこで、例えば大高緑地の中には交通公園が設置してありますが、「自動車の楽しさ」とともに「走る、止まる、曲がる」といった運転の基本を体験できる交通教育エリアを新城総合公園やほかの県営公園にも交通教育施設を整備することは、交通安全政策の一環にもなると思います。さらに、新城総合公園は「南海トラフ地震における愛知県広域受援計画」に広域応援部隊、つまり緊急消防援助隊の県内進出拠点に指定されていることから、改めて公園施設の整備計画に防災対応を含め、公園を所管する建設部と防災局、そして地元新城市が協議され、今後の施設整備を推進されるよう要望します。



● 県史編さん事業について



議案質疑概要(福田よしお)

県史編さん事業(予算額 8,753 万 4 千円)は、愛知県の原始・古代から現代に至る歴史的発展過程を明らかにし、県民のふるさと愛知に対する理解を深めるとともに、多くの貴重な資料を県民共通の財産として後世に残し、県の学術及び文化の振興に資することを目的に行われています。県政について今後の政策立案や政治判断するうえで、この愛知県史は大変重要かつ有益な資料編さんであり、我々議員や愛知県職員はもとより、広く県民に周知する必要があると考えます。今までの愛知県史の刊行状況及び平成29年度の編さん、刊行予定や啓発事業など来年度予算の内容と今後の取り組みについてお伺いします。

答弁要旨（総務部長）



県史の刊行実績は、これまで47巻を刊行し、県内各地の歴史資料を写真や活字で収録した資料編が35巻、文化財や自然をテーマにした別編11巻、本県の歴史を時代の流れに沿ってわかりやすく記述した通史編が1巻で、平成28年度末には通史編1巻、資料編1巻を刊行し、合計で50巻となります。平成29年度は鎌倉幕府成立期から関ヶ原の戦いまでを収録範囲とする中世の通史編2巻と工芸に関する文化財の別編1巻の計3巻を刊行予定です。また、事業の最終年度の平成31年度までに江戸時代から現代までの通史編5巻を編纂さんしていきます。加えて、県史編さんの成果である県史を広く県民の皆さんや研究者の方々に活用いただけるように公立図書館、資料館、高等学校、歴史系・教育系学部を持つ大学などに配布するとともに、購入希望者への有償頒布も行っています。また、毎年県史の執筆者を講師とした講演会「愛知県史を語る会」を開催しています。今年度からは愛知県立大学と共催で「県史連続講座」も開催し、大学生を始め幅広い年齢層の方々に本県の歴史に興味を持っていただくとともに、ふるさと愛知に対する理解を深めていただいています。今後とも、さまざまな機会をとらえ広く県民の皆様への周知に努め、県史をご活用いただけるよう取り組んでいきます。

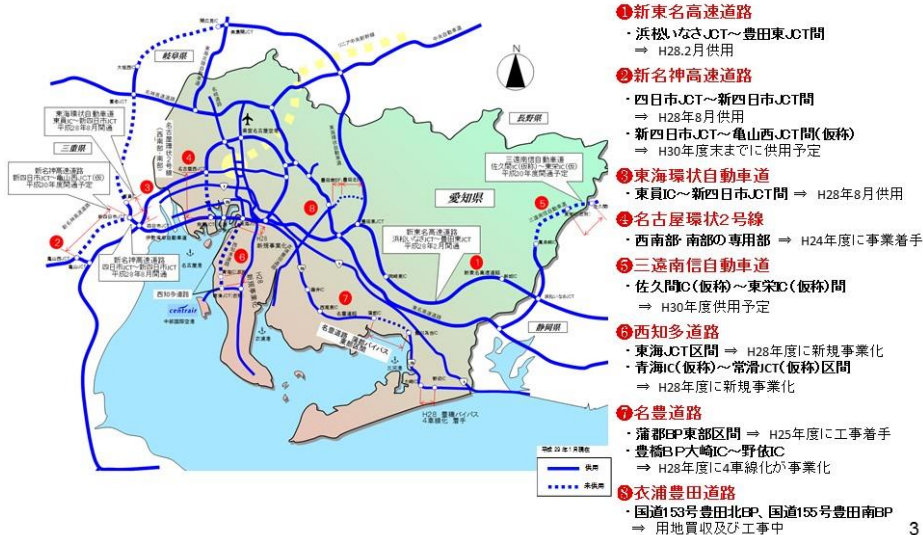
中京大都市圏づくりに向け提言！

2027年リニア中央新幹線が東京品川と愛知名古屋を40分で結びます。そのリニアインパクトを生かすために、広域道路ネットワークの整備と中部国際空港の拡充が大きなテーマになっています。特に名古屋と豊田を40分で結ぶためいろいろな構想がありますが、私は過去の県政レポートで「国道153号の6車線化及び高規格道路（名古屋豊田道路）の実現が不可欠」と提言してきました。今後もその実現に向け努力してまいりますので、ご支援よろしくお願い致します。

下記は平成29年1月31日「国土政策フォーラムin愛知」の基調講演で配布された資料の抜粋（使用承諾済み）です。

広域道路ネットワークの整備

○広域道路ネットワークの整備促進に取り組み、物流・交流拠点と産業集積地や拠点都市との連携強化を図る。



中部国際空港の機能強化

○二本目滑走路を始めとする機能強化の早期実現に向けた取組を推進する。

早期実現に向けた取組



ア 中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会による取組
・東海3県1市、名商、中経連、中部国際空港(株)等で構成。
(会長:愛知県知事)
・議員連盟と連携し、国への要望、調査、広報活動を実施。
イ 中部国際空港拡充議員連盟の設立
・平成26年4月に、政府与党国会议員による議員連盟が発足し、国政レベルでの取組が進められている。
(会長:川崎二郎衆議院議員、事務局長:伊藤忠彦衆議院議員)
ウ 中部国際空港拡充愛知県議員連盟の設立
・平成28年3月に、愛知県議会議員による議員連盟が発足した。
(会長:若村進次議員)
・また、10月に知多地域5市5町の市町議員等、11月に三重県議会議員、12月には岐阜県議会議員、名古屋市議会議員による同様の議員連盟が相次いで発足した。

需要拡大に向けた取組

ア エアポートセールスの実施
・平成28年度実績
米国、マレーシア、中国、ベトナム
イ 中部国際空港利用促進協議会による取組
・東海3県1市、名商、中経連、中部国際空港(株)等で構成。
(顧問:愛知県知事)
・アジア地域をターゲットにしたインバウンド旅客誘致事業の実施。
・若年層の海外渡航促進等フライ・ゼントリア事業の実施。

中部国際空港機による取組

ア LCCの拠点化
・エアアジア・ジャパンが、平成27年9月に本社を中部国際空港に移転。同年10月に航空運送事業の認可を取得。
・平成28年3月、空港会社は、LCCに対応した新ターミナルビルの整備を発表。平成31年度上期に供用開始予定。
イ 貨物便の拠点化
・新規路線の誘致及び既存路線の増強を目的として着陸料割引を実施。
ウ ボーイング787初号機を中心とした複合商業施設の整備
・施設名称:「FLIGHT OF DREAMS」
・供用開始時期:平成30年夏頃

成人になったら骨髄ドナー登録をしよう!



活動Photo



1/25 東郷町輪投げ大会



3/12 東郷町消防団入退団式



3/30 日進めばえ保育園竣工式



4/1 ホテルの幼虫放流会



3/16 諸輪小学校卒業式



4/2 岩崎城春まつり



4/2「ハーモニー」
オープンセレモニー



4/6 日進高校入学式

五月十一日 日直 福田よしお

福田よしお公式WEBサイトはこちらから



見てね~